

令和6年度 調布市立国領小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
◎よく考える子・・・〔自ら考え表現する子供〕「創造性」【問題解決能力】 ○仲良くする子・・・〔自他を大切にする子供〕「思いやり」【人間関係形成能力】 ○元気な子・・・〔自ら心と体と鍛える子供〕「挑戦」【自己指導能力】	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
認め合い, 高め合い, 笑顔あふれる国領小学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	学習指導要領が目指す「主体的で対話的で深い学び」の中で, 認め合いの土壌を育み, さらに学ぼうとする意欲を高めていく。自他を尊重し, お互いを認め合う関係から, 思いやりの心が育ち, 自然と笑顔がうまれてくる。児童, 教職員, 保護者, 地域, 全てが学び育ち合う, 笑顔あふれる学校を目指す。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	言葉がもつよさを認識して言語 感覚を養い, 叙述を基に自分の 考えをもちすすんで伝え合う力	・言語活動を充実させ, 言語の特性を理解し, 適切に使うことができる知識・技能を身に付けさせる。 ・読みを深めるため, 叙述を自分の経験と結び付けて捉えられるように発問等の工夫をする。 ・対話を通して自分の考えを広げたり深めたりすることができるように, 考えを整理し, 対話を活性化させるための工夫を行う。 ・幅広く読書に親しめるように読書指導を充実させ, 言葉のもつよさを認識できるようにする。
社会	学んだことを暮らしや社会と つなげ, 活用する力	・どの学年でも問題解決型の授業展開ができるよう, 中学年のうちから, 学習問題の作り方や学習計画, 調べる時間の設定, まとめ方など学び方を定着させる。 ・位置や空間的な広がり, 時期や時間の経過, 事象や人々の相互関係といった視点をもたせられるよう資料を精選する。 ・社会科を「自分事」として捉えられるように, 「生かす」時間を適宜設定するなど単元構成の工夫をする。
算数	事象を数量や図形及びそれらの関 係などに着目して捉え, 発展的に 考える力	・校内研究を通し, 系統立てた指導を学校全体で行っていく。 ・児童も教員もモバイル端末を有効に用いることにより, 「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実現させていく。 ・具体物を用いたり, 日常の生活場面と結び付けて考えさせたりすることで量感を養う。 ・東京ベーシックドリルを活用して, 反復練習を行う。
理科	既習事項や自己の体験・経験に 基づいた予想を考え, 見通しを 立てて実験・観察をする力	・単元の導入時に今までの学習や生活を振り返ることで, 新しい学びにつなげるように工夫する。 ・自分の予想をもとに, どのような結果(数値・事象)が得られるのかを焦点化し, 目的意識をもって実験・観察ができるようにする。
生活	身近な人や社会, 自然などを自 分との関わりで捉え, 集団や社 会の一員として適切な行動を考 え, 実践する力。	・学校探検や町探検などの体験活動を充実させ, 友達や異学年, 地域の方と触れ合う中で, 身近な場所や人々のことを知り, 必要な知識を身に付けることができるようにする。 ・モバイル端末を活用し, 観察したことや体験したことから気付いたことや感じたことを自分の言葉で表現できるようにする。また, 友達同士で交流したり, 発表したりすることで目的意識をもって活動できるようにする。
音楽	互いを認め合いながら音楽活動 を楽しみ, 音楽的な見方・考え 方を働かせ, 生活や社会の中の 音楽と豊かに関わる力	・モバイル端末を活用して, 曲のよさや楽しさを見出せるような教材提示の仕方を工夫する。 ・グループやペアの学習形態を多用し, 互いの良さを認め合ったり, よりよい表現になるよう試行錯誤したりしながら友達と協働して主体的に学習に取り組めるようにする。

図画工作	豊かに発想や構想し、自分の見方や感じ方を広げ、すすんで表現したり鑑賞したりする力	・児童の興味や関心を高め、既習の経験を活かして、より良い工夫や表現ができるような効果的な教材を提示をする。 ・学習カードを活用することで、完成までのイメージや見通しをもって学ぶことができるようにする。 ・鑑賞を通して、自分や友達の作品の良さを味わう機会をもち、さらに自分の作品の表現に生かせるようにする。
家庭	衣食住などに関する実践的、体験的な活動を通して、生活をよりよく、豊かにしようと工夫する力	・実習や製作の中で細かい動きの確認やつまずいた時に写真や動画などモバイル端末を活用して自分で確かめつつ学習できるようにする。 ・十分習得されていない技術については間近で手本を見せたり、動画を使用して、ポイントをおさえたりするなど個に沿った指導をする。 ・友達同士で教え合う活動を授業の中に必ず取り入れる。 ・学習した内容は家庭でも実践する機会を設ける。また、実践結果を撮影・記録し、発表する際にモバイル端末を活用する。
体育	自己の課題を見出し、課題解決に向けて思考・判断し、他者と考えを伝え合う力	・学習カードを活用、自己の課題の明確化、課題解決の方法、振り返り、次時の課題設定というPDCAサイクルを作る。 ・お手本動画の視聴や学習カードのデジタル化を段階的にを行い、自分の学習の積み重ねを記録できるようにしていく。
外国語	外国語で「話す・聞く・読む・書く」ことを使い、コミュニケーションを図るための基礎となる力	・AETと連携しモバイル端末を使用することで、英単語や文章表現を繰り返し学習し、基礎的な表現を身に付けさせる。 ・生活の中で使うような、身近な外国語での言語活動を行うことを通して、自分の考えを表現できるようにする。 ・映像資料を多く用いて、外国の文化に対する理解を深める。
道徳科	主体的に対話する活動を通し、自己のよりよい生き方についての考えを深める力	・モバイル端末を活用し、子供一人一人が自分の価値観や考えなどを共有できるようにする。 ・子供の実態に合わせた指導方法を工夫する。(役割演技・動作化・表現活動等) ・見方や考え方を広げたり深めたりするために、友達との対話の時間を十分に取り充実させる。 ・児童が自らを振り返ることができるよう、個人で考える時間を設けるとともに、授業展開を工夫していく。
外国語活動	外国語を使った言語活動を通して、基礎的なコミュニケーションを図る素地となる力	・モバイル端末を活用して会話音声を聞くことやゲームを行うこと、歌を歌うことや絵本を読むことを通して、外国語の基本的な表現に慣れ親しむようにする。 ・友達と対話することに意欲をもたせ、身近な事柄について、外国語で表現することを楽しむ。